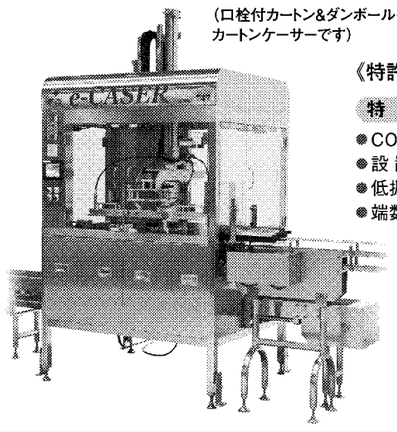
画期的「空中集積方式」による
高性能カートンケーサー「第2弾」登場!

環境に優しい!

e-CASER「第2弾」MODEL 748　CO2排出削減量6トン／年(50%off)

(口栓付カートン&ダンボールケース対応のカートンケーサーです)

「空中集積方式」によるケーシングでパックの傷、損傷が激減!
更に「サーボモーター駆動」採用で大幅な省エネと小型化を実現!



《特許第4820889号》

特長
- CO2排出削減量 6トン/年　50%off(当社比)
- 設置面積 30%off(当社比)
- 低振動、低騒音(当社比)
- 端数処理(払い出し)機能を標準搭載

仕様
- カートン：ゲーブルトップ(□71㎜)1,000ml、500ml (オプション部品装着で750mlの兼用も可能)
- 集積形態：[1,000ml]4個×3列=12本／ケース
- 能　力：[シングル]8,500個／時(1,000ml、500ml共)
- 重力量：三相200V1.9KVA
- エアー量：200NL/min0.6MPa
- 材　質：ステンレス(一部、アルミニウム)

ジャパンパック2011に出展します!
東3ホール　小間No. B3-201

食品機械装置の明日を拓く
株式会社トーワテクノ
TOWA TECHNO
http://www.towatechno.co.jp/

本社・広島工場：TEL 082-893-2111(代)　FAX 082-893-2110
東京支店：TEL 03-3455-1581(代)　FAX 03-3454-5457
大阪営業所：TEL 06-6319-0338(代)　FAX 06-6382-4765
九州営業所：TEL 0942-83-0841(代)　FAX 0942-83-0840
東京工場：TEL 042-564-1531(代)　FAX 042-564-0368

PL-HACCP対策に
食品の味と安全を守るために
パイオニアクリーン環境機器

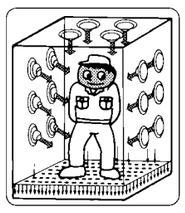
小間番号 A6-443

タイヤの汚れをスピード除去
リフト車輪クリーナー
●PAT製品●

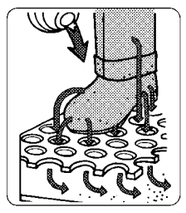
フォークリフト以外の車輌もOK!

品質向上、環境創造のために
クリーンルームダスター
●PAT製品●

■3方より同時吹き出し!!
全身に付着したゴミ等を吹き飛ばします。

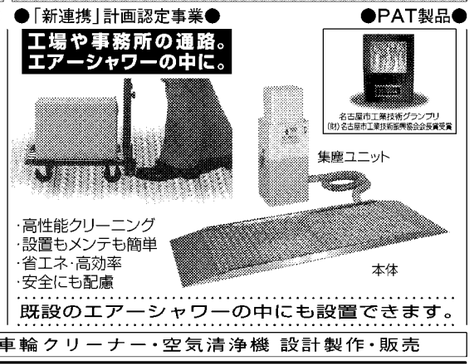


■床面から吸い取る!!
噴射後の空気を足元から吸い取って回収します。



靴底を空気でキレイに
エアー吸着マット
●「新連携」計画認定事業●　●PAT製品●

工場や事務所の通路。エアーシャワーの中に。



·高性能クリーニング
·設置もメンテも簡単
·省エネ·高効率
·安全にも配慮

既設のエアーシャワーの中にも設置できます。

営業品目　クリーンルームダスター・シューズクリーナー・リフト車輪クリーナー・空気清浄機 設計製作・販売

株式会社パイオニア風力機
本社・工場 〒458-0847 名古屋市緑区浦里3-25 ☎(052)892-6855(代) FAX(052)892-8803
関東営業本部 〒226-0025 横浜市緑区十日市場町881-5 ☎(045)982-5005(代) FAX(045)982-5216
九州営業所・九州工場 〒879-1504 大分県速見郡日出町大神2929番3 ☎(0977)72-9301 FAX(0977)72-0239
東北仙台営業所 〒982-0841 仙台市太白区向山三丁目1-10 ☎(022)217-8620 FAX(022)217-8621
E-mail/info@paionia.co.jp　URL/http://www.paionia.co.jp/
愛知ブランド企業認定 愛知県 認定番号 508 2009年2月18日～2012年3月31日

ジャパンパック 2011

花塚製作所

花塚製作所のポンプ事業は1956年、醸造工場の青銅製ポンプから始まった。半世紀以上にわたりノウハウを蓄積し、ステンレス製ポンプと定量充填機の専門メーカーとして成長してきた。

今回は主力のステンレスルーツポンプ「CFシリーズ」を展示する。①低粘度から高粘度までのあらゆる液体輸送に対応②接続部・駆動部の完全分離型で「分離―洗浄―組み立て」が容易③独自のメカニカルシールを採用し衛生的④吐出量の変化が少なく、任意の設定可能⑤呼び水要らずの自吸式で騒音がない―などが特徴。耐食・耐熱性にも優れている。

定量充填機は①連続・間欠とも安定した充填量で量の変更も容易②液切れ抜群の特殊ノズル装置③液体や固形混入物の変質・変形を防ぐ特殊形状ロータリー―が自慢だ。

京町産業車輌

京町産業車輌は、作業者の負担を軽減する作業環境改善機器を多数出品する。「ロール反回転リフト外径チャック式アシスト付」は、ロール状の紙やフィルムを運ぶリフト。最大荷重は600キログラム。印刷や包装に使うロール材をつかみ、反転させて機械に装着する。リフトの移動は手動で、作業者の負担を軽減する駆動アシスト機能を搭載した。

新製品の「ひっぱるぞう」はけん引ドライブ。最大荷重1トンタイプと1・5トンタイプがある。台車などの運搬機器に連結し、けん引作業を補助する。ハンドルは高さを780ミリ―1130ミリメートルまで調整できる。また、アタッチメントの部分も高さ調整可能。100トボルト電源でバッテリーを充電し、フル充電で3キロ―4キロメートル走行する。

アテックス

アテックスの電動アシストリフター「アシリ」と、電動アシストカート「アシカ」は、左右の車輪を独立したモーターで制御する「2モーターアシスト駆動」を採用し、小回りが利くのが特徴。手押し感覚で簡単に操作できるので、重量物の運搬や積み降ろしが容易にできる。

持ち手部分にある「歪みセンサー」で、前へ押したり、後ろへ引いたりする時に持ち手にかかる力の度合いを感知し、二つのモーターでアシストする仕組み。人の動きに合わせて動き、手を離せば自動的に停止するので、安全に操作できる。

最大積載量はアシリが300キログラムと500キログラムの2タイプがあり、アシカは500キログラム。充電器も内蔵しており、初心者や女性や年配の人でも簡単・安全に楽しく操作を行うことができる。

大和製衡

大和製衡は〝生産性〟〝操作性・メンテナンス性〟〝食の安全〟そして〝環境対応〟の面で計量・包装業界をリードする新シリーズ「データウェイオメガ」シリーズを発売している。

同機は上部から投入された対象物の重さを、円形状に配置した複数の計量器で個別に計量する。個々の計量器の重量データを集計し、合計で包装する重量になるように自動的に組み合わせる計量器である。計量数は1分当たり200件以上。生産性の向上に加え、消費電力を60%削減している。また、床からの振動影響をデジタルフィルターなどで軽減することで、計量精度を高めた。

計量速度と目標重量を設定すれば、製品の形状や供給量の変化に応じた計量が簡単にできるオートチューニング機能なども搭載し、操作性も高めている。

アンリツ産機システム

アンリツ産機システムは包装の進化や生産現場の実状に対し、検査機ニーズを満たす製品でソリューションを提供する。

操作性と視認性を大幅に向上させた重量選別機の新製品「SSVシリーズ　オートチェッカ」は、表示部に大型8・5インチのカラー液晶タッチパネルを採用。分かりやすいメニュー画面で初心者も簡単に操作可能。イーサネットとUSBのインターフェースを標準装備した。

総合品質管理・制御システム「QuiCCA」は、過去の記録や現在の状況を管理し、今後の課題を指摘するなど生産活動を総合サポートする。今回、バーコード管理ができる新機能を追加し、生産ロットから検査データを検索し個体特定ができる。また不適格品検出時の録画機能は、ヒューマンエラー改善などが期待できる。

オリエンタルモーター

オリエンタルモーターは、装置の信頼性向上と省エネルギーに貢献するモーションシステム製品を多数展示する。

ブラシレスモーター「BLEシリーズ」は、ワイドな速度制御範囲と優れた速度安定性、省エネ、コンパクトが特徴の速度制御モーター。電磁ブレーキ付モーターをラインアップし、上下駆動(巻き下げ運転)時にも安定した速度制御が可能。ステッピングモーター「αSTEP・ARLシリーズ」は、独自のクローズドループ制御により位置制御で高い信頼性を実現。さらに高効率化技術の採用で、モーターの大幅な発熱低減と消費電力減を可能にする。

チューニングレスACサーボモーターユニット「NXシリーズ」やコンパクトリニアアクチュエーター「DRSシリーズ」などの製品も展示する。

マーケム・イマージュ

マーケム・イマージュは、2月に発売した「小文字用インクジェットプリンター9232」を出展する。製造年月日、賞味期限、トレーサビリティ対策などの印字は「その差は目にみえる」ほど鮮明。小型機同様の低消費電力でかつ高い印字品質を確保している。

環境にやさしい「MEKフリーインク」と「ケトンフリーインク」を標準インクとして搭載。溶剤の消費量は最大1時間当たり2・5ミリリットルまで低減し初期導入コストとランニングコストを大幅にカットし、環境配慮している。

ユーザーインターフェースでインクや溶剤の残量、印字可能残時間や稼働率をリアルタイムで表示。メーカー保証は18カ月と長く、ベテランサービスマンによるアフターサービスが受けられ、ユーザーは常に安心して生産に専念できる。

トーワテクノ

トーワテクノは新開発の〝空中集積〟でカートン(紙パック飲料)をケース詰めする「e―CASER」を出品する。カートンのトップを空中でつかんでそのままケースに入れる仕組みでパックの破れや傷などの損傷が激減する。

同社や同業他社含め従来のケース詰めはエアシリンダーによるプッシュ整列式が定番だった。サーボモーター駆動により、大幅な省エネと小型化も実現。1日12時間で週6日間稼働させた場合、年間の二酸化炭素(CO_2)排出量は約6トンで同社従来機比50%減、本体サイズは従来機比約70%に小型化する。

そのほか紙カップにヨーグルトなどを充填する定評の充填機「FS4」やアルミカートン充填機も展示。併せて食品加工などで殺菌洗浄能力の高い微酸性電解水製造装置「ピュアスターMP―5000」なども出品する。

シンク・ラボラトリー

シンク・ラボラトリーは今年、新型のレーザーグラビア製版システム「NewFX」を発売。ユーザー各社に導入し、順調に稼働させている。

同社は従来型の製版方法からFX―eco版(レーザーによる高画質浅版化技術)を推奨し、順次移行を提案。2年前から印刷時におけるインキ積算使用量の推移を計測してきた結果、移行後に約35%の大幅な削減効果を得られた。また印刷時の揮発性有機化合物(VOC)排出低減による燃焼装置稼働の抑制にも効果を発揮できる。さらに各種消耗材や消費電力の低減などユーザーへのさまざまなメリットの提供に成功している。

またレーザー製版でしか再現できないドットコード技術も各社食品パッケージへの採用が予定され、さまざまな用途展開が期待されている。

オサダコーポレーション

オサダコーポレーションのクリーナーは、粘着力の変わらないクリーンローラーシステム。包装作業現場や電子機器の製造現場などさまざまな分野で高い評価を得ている。顧客の製造ラインに合わせた設計と製造が可能で、ハンディタイプから大型クリーナーまで、幅広い範囲の注文にも対応する。

展示会ではフィルムの蛇行、しわ、張りのないローテンションなどの影響がなく、クリーニングできる高機能のオートトレースクリーナー「ATC」を展示。このほか高速ラインおよび広幅ライン用の「FC」や粉末状のゴミの多い工程に最適なブローとバキュームを組み合わせた「BVC」も紹介する。

同社の製品はこれらATCとFCなどを主力に、多様な製造ラインでの異物除去に威力を発揮している。

“機械”を見つけるよい“機会”

展示会詳細、インターネット事前登録は下記ウェブサイトをご覧下さい。

http://www.japanpack.jp/

10/18(火)～21(金)
東京ビッグサイト

2011 日本国際包装機械展
Japan International Packaging Machinery Show

お問い合わせ先：ジャパンパック2011事務局　(社)日本包装機械工業会 TEL03-6222-2275　FAX03-6222-2280